

～令和元年度原爆パネル展にご来場いただいた皆さんから

お寄せいただいた感想文の一部をご紹介します～

【10代 学生】

原爆で命を落としてしまった人がたくさんいて、1kmはなれたところでも助からなかった人が多いことにおどろきました。今の科学の力でまたこのような兵器がつくられどこかに落とされたら、もっと多くの命が失われ、失うものが増えると思っています。

今、こんな平和な日本なのは原爆や戦争があつてこそなのかもしれませんが、二度とこんなことにはなつてほしくないと思つていました。

【50代 社会人】

日本人として知るべき悲劇、一度は訪れるべき地広島・長崎。もっと学ぶべきだと思ふし、知るべきだと思ふので、こういう展示を増やしてほしいと思ふます。

犠牲になつた方々、今も耐えている方々に思ひを寄せて、しっかり生きていきたいと思ふます。

【40代 社会人】

私が子供の頃は近所のスーパーでもパネル展示がありました。いつからか見かける事がなくなりました。

もっと沢山の人が来るところでの展示を希望します、平和な日常の中では見過ごされがちな戦争。1年に1度でもパネル展を見て思ひをはせることが大事だと思ふます。

今の日本はどうでしょう・・・？

報道や芸術の面で、戦前のような雰囲気になつていないでしょうか？

戦争は突然やってくるといひます。現実を見る力を養わなければと思ふます。

【40代 その他（団体職員）】

少なくとも一年に一度はきちんと向きあふべきと思ひ、小4の娘と見に来ました。生々しい写真もありますが、娘もじっくりと見て説明を聞き、感じるものがあつたようです。

母になつてから初めて見た、炭のような亡くなつた赤ちゃんの写真。思はず涙

がこみ上げてきました。つらいですね。でも、74年前の事実。今を生きる私たちが考え、日々の行動につなげていきたいです。

今の政治も、きちんとこうした歴史に向き合い、国の姿勢を決めて欲しいと強く思います。

\*-\*

多くのご感想をいただき、ありがとうございました。

パネルをご覧になって皆さんが感じたことをご家族やご友人に伝えていただけたら幸いです。

最後になりますが、原爆パネル展にご来場いただき、誠にありがとうございました。来年度へ向けて、いただいたご意見を参考により良いものになるよう努めてまいります。

みなさまのご来場を心からお待ちしております。